学校番号	1008

令和８年度　総合造形科

教科	総合造形	科目	（学）総合 絵画・彫刻Ⅰ	単位数	2単位	年次	2・3年次
使用教科書	なし						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

絵画と彫刻という二つの表現領域を通して、自分の内面とじっくり向き合いながら表現していく力を伸ばしていきます。自分のペースで試行錯誤しながら、将来にわたって創作活動をおこなうために必要な基礎的な力を身につけることを目指しましょう。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
・対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めている。
・造形的な分野に必要な表現に基づいて、創造的な表現をするために必要な技能を身に付け、意図に応じて表現方法を創意工夫し、表している。
【思考力、判断力、表現力等】
・造形的なよさや美しさ、表現の意図と創造的な工夫について考えるとともに、主題を生成し発想や構想を練ることができる。
・視覚表現を通して、自分の考えや感情を効果的に伝える表現を追求する。
【学びに向かう力、人間性等】
・作品制作に主体的・継続的に取り組み、学習を振り返って次の表現につなげる。
・制作環境の整備や材料管理を責任もって行う。
・友人との協議や鑑賞活動を通して、多様な価値観を尊重する姿勢を育む。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めている。 ・創造的な絵画・彫刻の制作をするために必要な技能を身に着け、意図に応じて制作方法を創意工夫し、表している。	・造形的なよさや美しさ、表現の意図と創意工夫について考えるとともに、主題に応じた発想や構想を練ったりしている。	・与えられたモチーフを積極的に捉え、真摯な態度で描画・立体造形表現に主体的に取り組むことができる。 ・自分の作品や他者の作品を観て、積極的に鑑賞しようとする。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1	絵画基礎	〔絵画表現①〕 ・基礎デッサン ・油彩画 ・鑑賞 ・振り返り	a：用具や材料の使い方と効果を理解し、意図に応じて作品制作に生かしている。 b：対象の観察をもとに画面構成を判断し、描写の重点を適切に判断している。 c：作品のよさや美しさを感じ取り、言葉などで考えを整理して、作品について批評し合うことが出来る。	作品 ワークシート	作品 ワークシート	制作の様子 ワークシート 作品
2	立体基礎	〔立体表現①〕 ・立体作品制作 ・鑑賞 ・振り返り	a：材料の特徴と効果を理解し、作品制作に生かしている。 b：観察に基づき、立体としての構造や特徴を判断しながら制作している。 c：作品のよさや美しさを感じ取り、言葉などで考えを整理して、作品について批評し合うことが出来る。	作品 ワークシート	作品 ワークシート	制作の様子 ワークシート 作品
	絵画応用	〔絵画表現②〕 ・油彩画 ・鑑賞 ・振り返り	a：用具や材料の使い方と効果を理解し、意図に応じて作品制作に生かしている。 b：対象の観察をもとに画面構成を判断し、描写の重点を適切に判断している。 c：作品のよさや美しさを感じ取り、言葉などで考えを整理して、作品について批評し合うことが出来る。			
3	立体応用	〔立体表現②〕 ・立体作品制作 ・鑑賞 ・振り返り	a：材料の特徴と効果を理解し、加工方法を工夫して作品制作に生かしている。 b：対象をよく観察し、面や量、質感などを相互に関連させ、表現の意図に応じて表現を創意工夫している。 c：作品のよさや美しさを感じ取り、言葉などで考えを整理して、作品について批評し合うことが出来る。	作品 ワークシート	作品 ワークシート	制作の様子 ワークシート 作品

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度